

第四十回啄木祭短歌大会受賞者

令和六年五月五日(日)

盛岡市渋民公民館(一四九首)

啄木祭賞

23 歳晩に火伏せの札を貼り替へて独りのための花豆を煮る (折居路子・盛岡市)

盛岡市長賞

64 夕映えの根雪にあはき影をおく庭木は妻の在りし日のまま (遠藤吉光・盛岡市)

岩手県歌人クラブ会長賞

133 患ひし夫を看取りて通ひ路の柿の実あかく秋深まりぬ (愛木タエ子・岩手町)

岩手日報社賞

65 添い寝する右手のリズムで母眠る杳き日吾に伝えしリズム (吉田千代子・盛岡市)

朝日新聞社賞

95 解体の決心つかぬ牛小屋の窓開け夏の風を通せり (千田マス子・奥州市)

毎日新聞社賞

70 海の色選りてくれにしネックレス能登の朝市ながく忘れず (照井方子・盛岡市)

読売新聞社賞

9 とんとんと階段降りる軽やかさ夏駆け抜ける孫の足音 (千葉貞子・一関市)

選者賞

赤澤篤司選

14 船乗りの父の帰宅は初かつお両手に下げて潮焼けの笑み (保坂みさ子・気仙沼市)

小笠原和幸選

92 新緑の若き力が満ち満ちて山迫りくる限界集落 (高橋悦子・八幡平市)

菊澤研一選

137 ウクライナの続く戦ウクライナに比島より逃げて帰りし姉を憶ひぬ (加藤洋子・盛岡市)

外館克裕選

33 啄木を詠ひ門田に馬耕とる青年は爽やか軍装解きて (佐々木由美・花巻市)

山口明子選

144 倒壊の牛舎暗めて伸び立てり去りたる息子の植ゑたる樺 (初森テル・一戸町)

互選高点歌賞

一位 23番 61点 折居 路子 (盛岡市) 六位 20番 30点 酒井 久男 (洋野町)

二位 59番 53点 千田マス子 (奥州市) 七位 146番 29点 山本 豊 (盛岡市)

三位 64番 41点 遠藤 吉光 (盛岡市) 八位 66番 26点 ネコノカナエ (久慈市)

四位 31番 36点 杉山 博代 (静岡市) 八位 105番 26点 岡田 紘子 (盛岡市)

五位 9番 31点 千葉 貞子 (一関市) 十位 65番 25点 吉田千代子 (盛岡市)